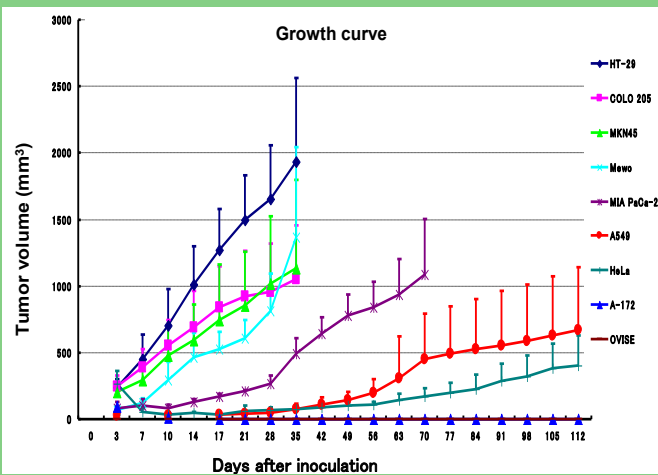


当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

担癌マウスを用いた抗腫瘍試験

当社では**担癌マウス**を用いて、**抗腫瘍効果**の評価が可能です。
担癌マウスの腫瘍体積を計測・算出することにより**抗腫瘍効果**を評価いたします。
今回は、当社が検討したヒト腫瘍細胞のバックグラウンドデータをご紹介します。
ご興味ございましたらお気軽にお問い合わせください。

ヌードマウス腫瘍体積（9種ヒト腫瘍細胞）



試験方法：ヌードマウス（CAnN.Cg-Foxn1^{nu}/CrJCrJ、雌、6週）の背部皮下にヒト腫瘍細胞を10⁷ cells/匹投与し、結節体積が1000 mm³になるまで観察（最長16週）（N=10）

ヒトがん細胞を用いた移植（Xenograft）モデル実績（皮下移植：異所性移植モデル）

- 大腸癌由来細胞株HT29
- 大腸腺癌細胞株COLO205
- 胃癌細胞株MKN45
- 非上皮系悪性腫瘍細胞株MeWo
- 膵臓腺癌細胞株AsPC-1
- 膵管腺癌細胞株MIA PaCa-2
- 肺癌基底上皮腺癌細胞株 A549
- 子宮頸がん細胞株HeLa
- グリア芽腫細胞株 A-172
- 卵巣明細胞腺癌細胞株OVISE



個別換気システム飼育ラックMSRS II：IVCユニット（MSRS II®）

汚染源からの拡散を防止でき、限られたスペースで免疫不全動物管理できます。

マウスがん細胞を用いた移植モデル（皮下移植：異所性移植モデル）についても実施可能です。



マウス用ケージ

Navi95号では「乳腺腫瘍モデルを用いた抗腫瘍試験」を紹介しています。興味のある方はこちらを参照してください。